

ブラジル 2023-24年度のオレンジ出荷量当初予測

FreshPlaza 2023年5月11日

ブラジル柑橘類ベルト地帯の2023-24年度の最初のオレンジ出荷予測は3億934万箱である。この予測は5月10日に発表された。予測出荷量は、前年の出荷量の3億1,421万箱より1.55%少ない。

柑橘類保護財団(Fundecitrus)は、降雨量が過去の平均を50%上回っており、こうした気象条件が2023-24年度の作柄に良い影響を与えていると報告していると、業界情報サイト Citrusindustry.net は伝えている。一方、ブラジルでは、ミカンキジラミの個体数とカンキツグリーンング病の発生数は増え続けている。

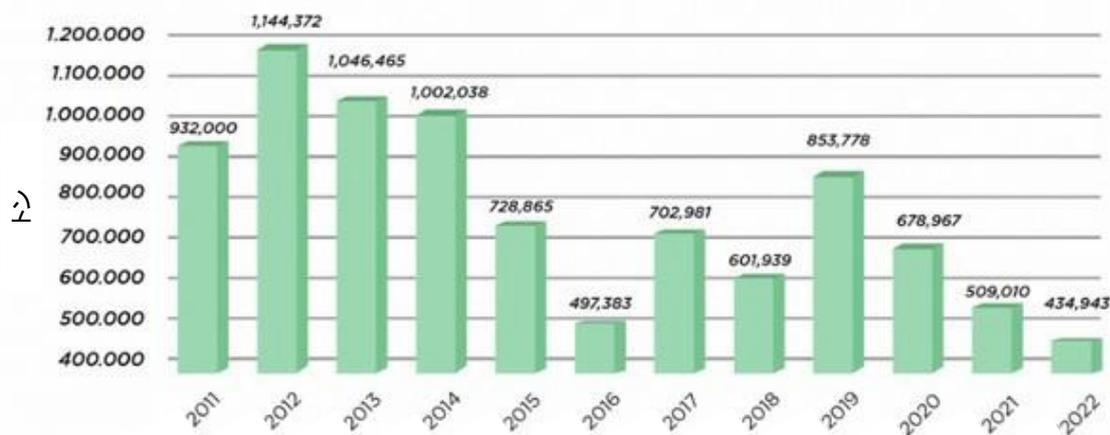
品種別の予測

2023-24年度のオレンジ出荷量予測の内訳は以下のとおり:

- ・ ハムリン(Hamlin)、ウェスティン(Westin)、ルビ(Rubi) 5,611万箱
- ・ その他の早生品種の1,822万箱
- ・ ペラリオ(Pera Rio) 9,895万箱
- ・ バレンシア(Valencia)及びバレンシア・フォリャ・ムルチャ(Valencia Folha Murcha) 1億523万箱
- ・ ナタール(Natal) 3,083万箱

複数の独立監査法人がブラジル柑橘輸出業者協会(CitrusBR)の各会員を対象に調査を実施し、ある外部監査機関が内部資料としてとりまとめた結果によると、2022年12月31日現在の同協会の会員が世界中に保有するブラジル産オレンジ果汁の在庫量は43万4,943トン(冷凍濃縮オレンジ果汁(FCOJ)換算)で、前のシーズンの50万9,010トンと比較して14.5%少なかった。果実の最終加工データと歩留まりは、現在のシーズンが終了した後で開示される。

CitrusBR 加盟企業が世界に保有するブラジル産オレンジ果汁の推移(各年の12月末時点)
66ブリックス冷凍濃縮オレンジ果汁換算のトン数(冷凍濃縮果汁と非濃縮果汁の合計)



出典: citrusbr.com